

始
ま
っ
た



こ
こ
か
ら



す
べ
て
は



新作狂言「里見八犬伝」

八犬伝リターンズ

4作品一挙公演

四
之
章

「樋の酒」

「八犬伝 犬士列伝参」

令和三年十一月十四日

午後五時三十分 開演

袖ヶ浦市民会館 大ホール

新作狂言「里見八犬伝」八犬伝リターンズ 四之章

アド 河野祐樹

狂言「樋の酒」 シテ小笠原由禰 後見 能村晶人

小アド小笠原弘晃

休憩 二十分

新作狂言「八犬伝 犬士列伝参」

・語り 先生 小笠原由禰

生徒 山下凜々花

・莊介危機一髪ノ段 信乃 小笠原弘晃

現八 野村拳之介

莊介 河野佑紀

小文吾 青山郁彦

やすへい 加藤充華

死刑執行人 能村晶人

追手甲 伊後澤利夫

追手乙 河口博昭

追手丙 安田麦

道節 野村万之丞

力次郎 鈴木修平

尺八 前川剛志

音音 杉本茜

曳手 神月濤

単節 新村沢美

・舞う田楽法師ノ段

小文吾 青山郁彦

馬加 能村晶人

毛野 TAKAKO

傀儡女老 神月濤

傀儡女式 新村沢美

家臣甲 加藤充華

家臣乙 野村万之丞

家臣丙 野村拳之介

家臣甲二

杉本茜

家臣丁

河野佑紀

家臣戊

前川剛志

家臣己

河口博昭

家臣庚

田代惇人

家臣辛

鈴木修平

家臣壬

安田麦

家臣癸

小笠原弘晃

囃子方

笛 一噌幸弘

ヴァイオリン

磯部舞子

笛 宮川悦子

コントラバス

吉野弘志

タブラ

吉見征樹

演目解説

「樋の酒」(ひのさけ)

主人は外出するので太郎冠者に米蔵、次郎冠者に酒蔵の番を言付け出かける。次郎冠者は早速酒を飲み始めるので、太郎冠者は羨ましがりが蔵を離れる事が出来ず……。

「八犬伝 犬士列伝参」

安房の里見家ゆかりの「八犬士」であることを知った信乃たち。もう一人の犬士である犬川莊介を迎えるため、信乃の故郷である大塚村に戻ったが、莊介は無罪の罪で今にも処刑されそうになっていた。信乃・現八・小文吾の三人は、やすへいの手引きで間一髪、莊介を助け出す追手に囲まれる中、同じ八犬士である犬山道節(どうせつ)と再会するが、追ひ詰められて五人は再び散り散りとなってしまう。仲間とはぐれた小文吾は、千葉家の家老である馬加(まか)に武勇を見初められ、招かれた屋敷にて田楽一座の旦那野(あさけの)と名乗る美女と出会うが……。

運命に翻弄されながらも、安房の里見家を目指す犬士たちの物語。

スタッフ

作・構成

小笠原由禰

総合演出

舞台監督

前田文洋

舞台監督助手

堀田興生

照明

岩本光正(株式会社フリーウェイ)

音響

伊東貴治(株式会社フリーウェイ)

映像

デジタルデザインスタジオ株式会社

協力

公益財団法人 千葉県文化振興財団

株式会社 萬狂言

株式会社 モンドバラレッコ

株式会社 玉ひで

千葉若菜の会・東京若菜の会

制作・票券 加藤充華

当日運営 富田愛子・櫻井恵美

プロデューサー・意匠 緒方辰之介

企画・主催 Atelier OGA.

